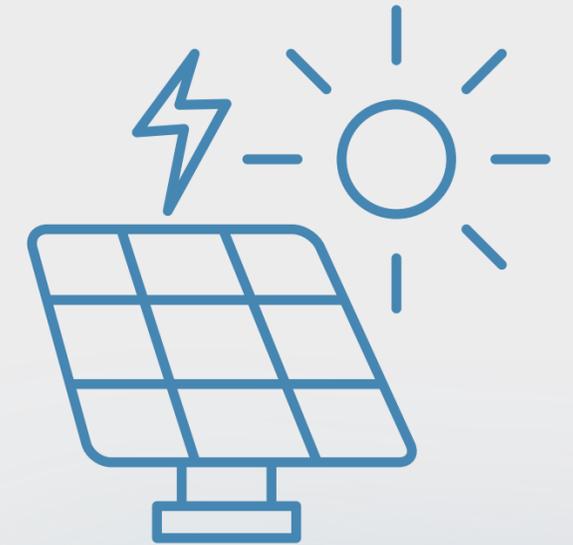


2025年1月25日(土)

ELECTRICITY AFTER GRADUATE FIT

卒FIT後の電力



第5回ひょうご高校生

環境・未来リーダー育成プロジェクト H班

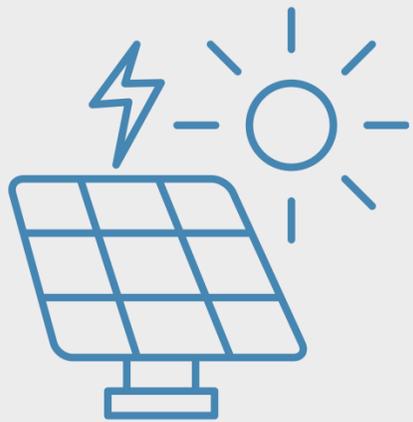
芦田悠太 児玉琥太郎 阿部大耀

目次

1. FIT制度とは？
2. 卒FITと地域新電力
3. わたしたちの提案
4. 卒FIT後の未来と
地域新電力

01

FIT制度とは？



01.FIT制度とは

再生可能エネルギーで
発電された電気を
電力会社が**一定価格で**
一定期間買い取る
ことを約束する制度。
(Feed-in tariff)

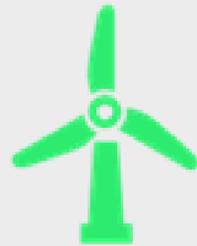


01.FIT制度とは

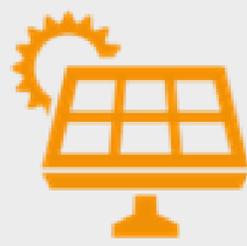
再生可能エネルギー



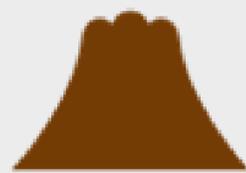
水力発電



風力発電



太陽光発電



地熱発電



バイオマス発電

発電された電気

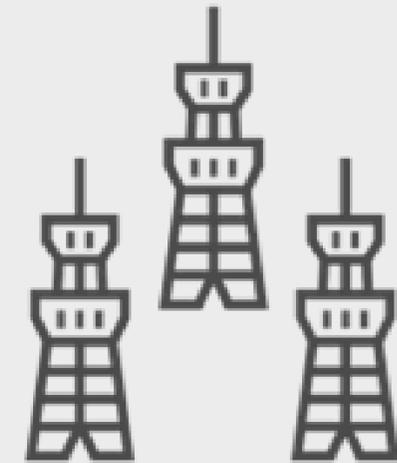
電気をご利用の方



賦課金

買取費用の支払い

電力会社など



FIT制度により、**一定期間の売電収入を保証**することで、一般家庭や事業者も**設置コストを回収する目処**が立ち、再生可能エネルギーを導入しやすくなる。

01.FIT制度とは

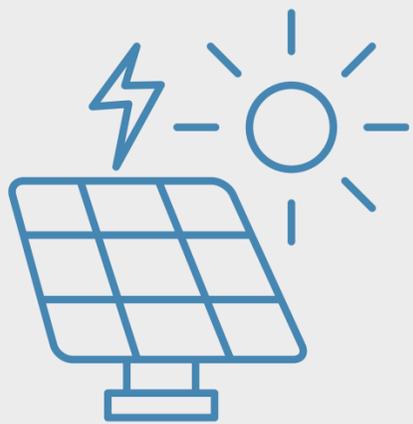
2024年度時点のデータ

年度	10kW未満	10kW以上50kW未満	50kW以上
2022年度	17円	11円	10円
2023年度	16円	10円	9.5円
2024年度	16円	10円	9.2円
2025年度	10円	10円	8.9円

固定価格は年度毎に決められる。年々、**固定買取価格は低下**しており、FIT制度終了後はさらに**買取価格が下がる**。

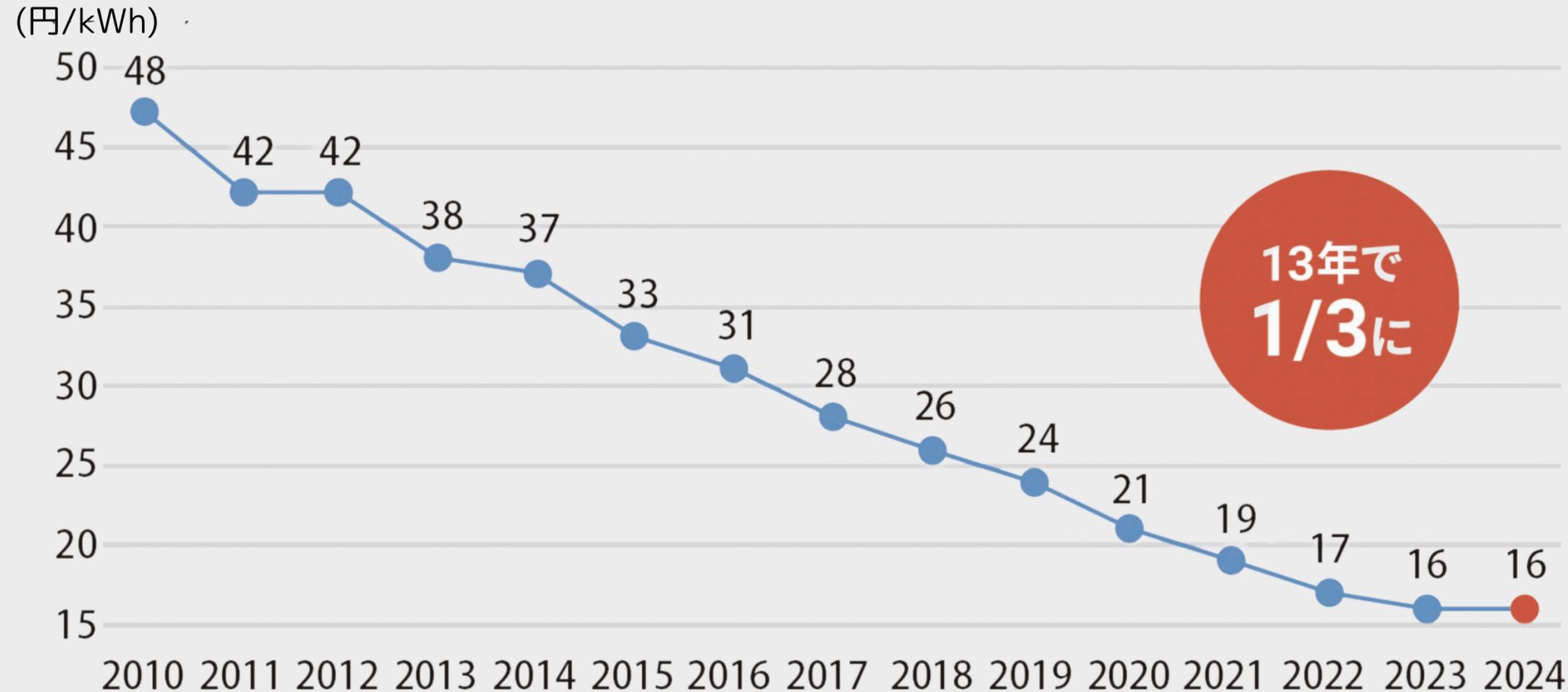
02

卒FIT制度と 地域新電力



02. 卒FIT制度と地域新電力

太陽光発電の固定買取価格の推移(10kW未満)



出典：https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/energy/chikuden-navi/after_fit.html

卒FITとは、固定価格買取制度（FIT）の**適用期間が終了**することを指す。適用期間終了後は**新たな売電先**を探す必要がある。

卒FIT後は、**市場での売電や自家消費、蓄電池の活用**が考えられるが、**固定価格が保証されない**ため、売電価格は市場価格に影響されてしまう。卒FITは、持続可能なエネルギー活用の重要な課題となっている。

02. 卒FIT制度と地域新電力

売電価格の低下

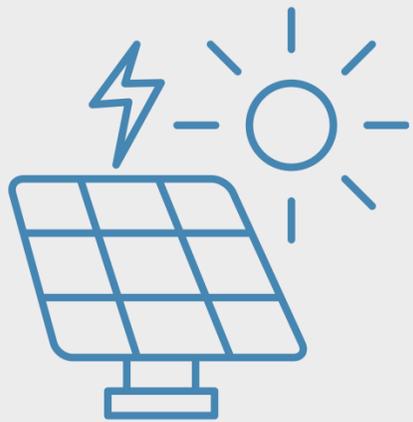
余剰電力を売電するよりも、電気使用量を減らして電力会社へ支払う電気料金を減らしたほうが、**大きな節約効果**を得られる可能性が高い。

電気の自家消費

蓄電池を導入すれば、夕方から夜間にかけて、発電できない時間帯でも**太陽光発電で発電した余剰電力を消費**できるため、1日の電気使用量を減らせる。

03

わたしたちの提案



03.わたしたちの提案

太陽光発電を官民一体で 地域電力会社で管理

～安価でクリーンなエネルギーから地域活性化を目指す～

03.わたしたちの提案

卒FITのユーザーをターゲットに、『**地域創生と地域還元**』を事業の根幹とする、再生可能エネルギーに注目した電力会社の立ち上げを提案します。



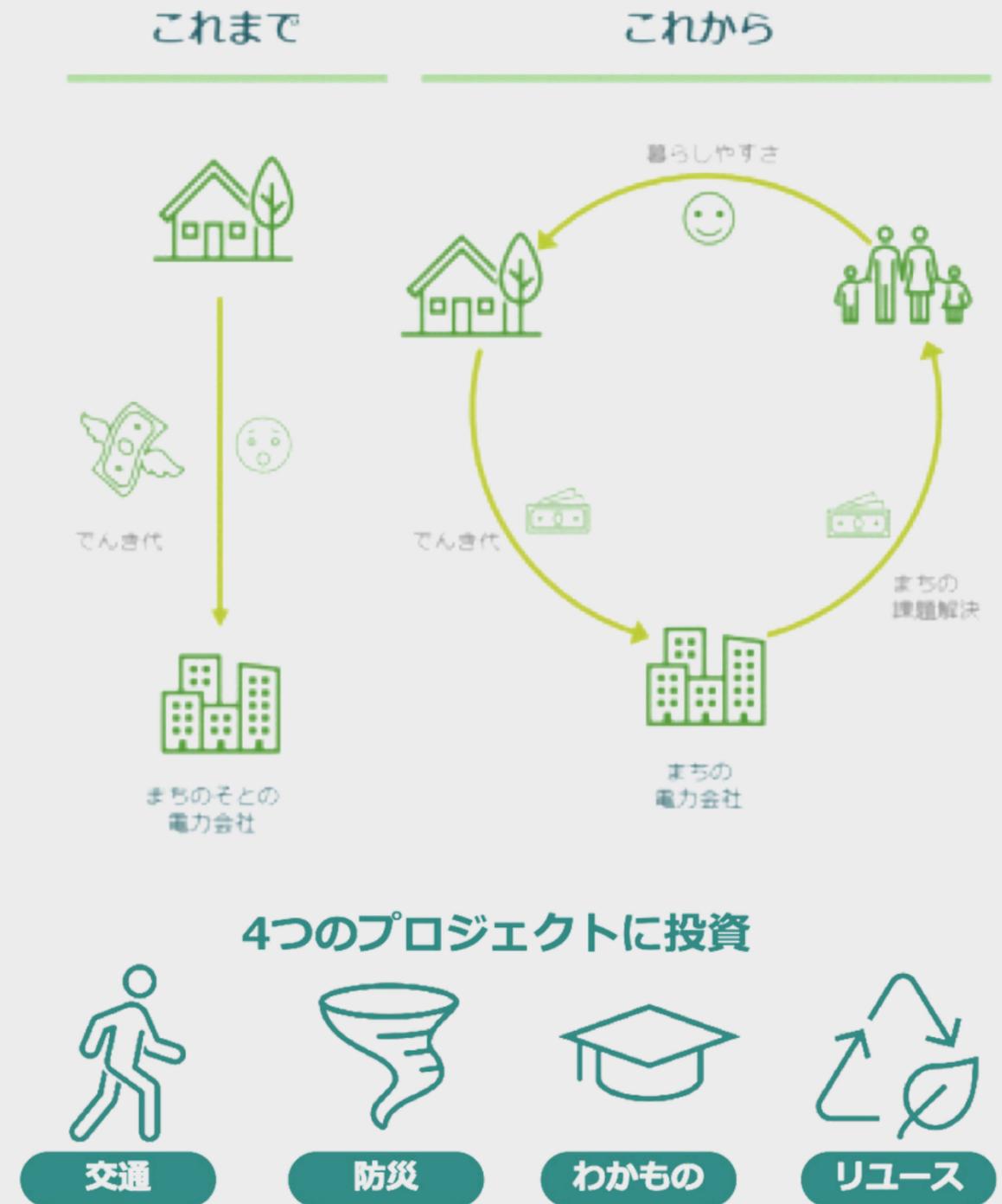
03.わたしたちの提案

<先行事例>

株式会社 能勢・豊能まちづくり

2020年より、卒FITに関する事業を展開。
地域に電力会社を置き、地域の外ではなく
中で経済を回す(→地域創生)形をとる。

電力買取も行っており、
現在の買取価格は1kWhあたり8.5円。



出典：<https://nose-toyono.com/>

03.わたしたちの提案

<Focus1 卒FIT⇄地域電力会社>

卒FITにより、**買取価格の減少を懸念するユーザー**をターゲットとする。

2023年度の市場平均買取価格は6.6円/kWhとされている。したがって

それを**上回る買取金額を設定し**、FIT制度時の買取価格に近いような金額で新規ユーザーを獲得する。

(ex.能勢・豊能まちづくりは8.5円/kWh、今のFIT買取金額は10~15円)



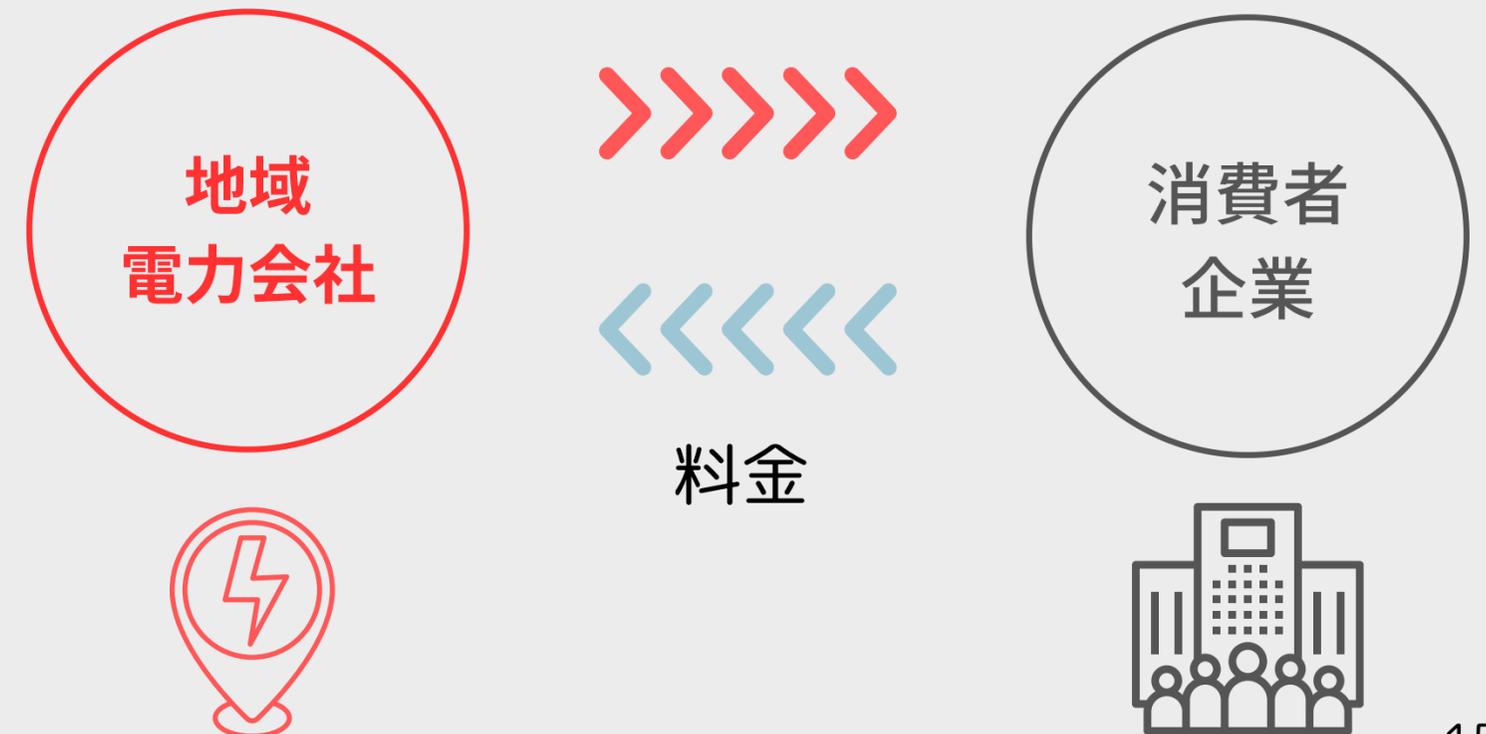
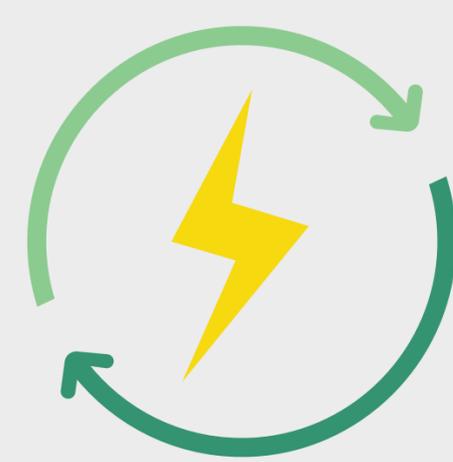
03.わたしたちの提案

<Focus2-1 地域電力会社⇄企業>
卒FITユーザーより買い取った電力を、
企業に販売する。

消費者(=地域の住民)よりも高めの
値段設定になるが、

“再生可能エネルギー100%”
”企業の環境経営を支援“

などの利点を強調し、
クリーンエネルギーを欲する企業
への継続的な契約を求めていく。



03.わたしたちの提案

<Focus2-2 地域電力会社⇔消費者>

消費者(=地域の住民)に対して販売。

企業に販売して得た利益の分を反映させ、

固定費+原価での電力販売をし、

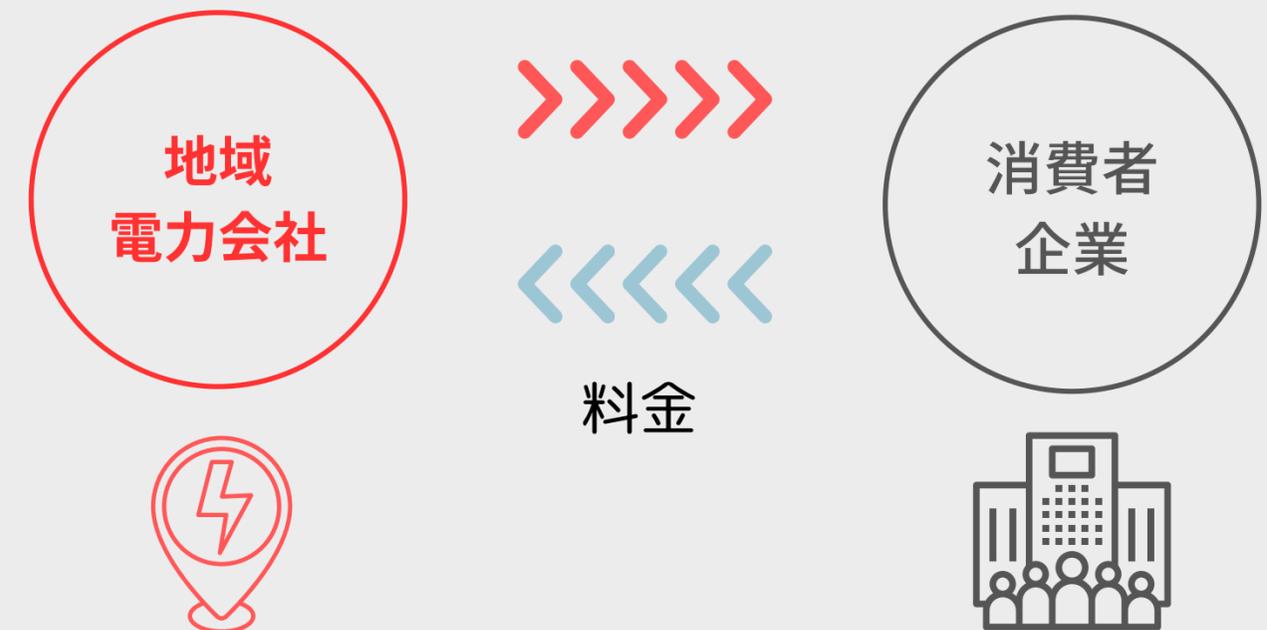
大手電力会社と**同等orそれ以下**での

電力供給を目指す。**付加価値**として、

再生可能エネルギー100%であることを

押し出す。地域社会ならではの、

口コミによる利用者拡大も期待。



03.わたしたちの提案

<地域新電力の先行事例>

ハチドリ電力では、
利用金額の1%を消費者・企業が
選択した支援先に寄付。

→消費者が“電力会社(=小売)”
を通して**その先にある団体を**
支援する。

1% for Social



海を知り守ることは、地球環境を守ること

一般社団法人タラ オセアン ジャパン

出典：ハチドリ電力

03.わたしたちの提案

地域新電力の経営に
新たなスタイルを巻き起こす。

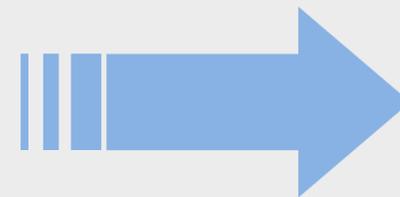
～地域に応援され、地域に還元する電力会社～

03.わたしたちの提案

地域新電力の経営に**新たなスタイル**を。

<これまでの地域新電力>

再生可能エネルギー100%
などを強みにして運営。
料金の数%を**地方への
投資に活用**するなど、
大手電力会社との差別化を
図る。



<これからの地域新電力>

再生可能エネルギー100%
などを強みに運営。
自治体とタッグを組んで、
“地域に応援してもらおう”
電力会社を目指す。

03.わたしたちの提案

地域新電力の経営に**新たなスタイル**を。

<これからの地域新電力>

“地域に応援してもらおう”とは？

→地域の人々が**出資**し、地域の人々に**還元**していく。

地域の**お金のつながり**・**人のつながり**を支える会社へ。



初期投資・財源は どこから？

地域の人々が”応援する”会社で、十分な出資を得るには？

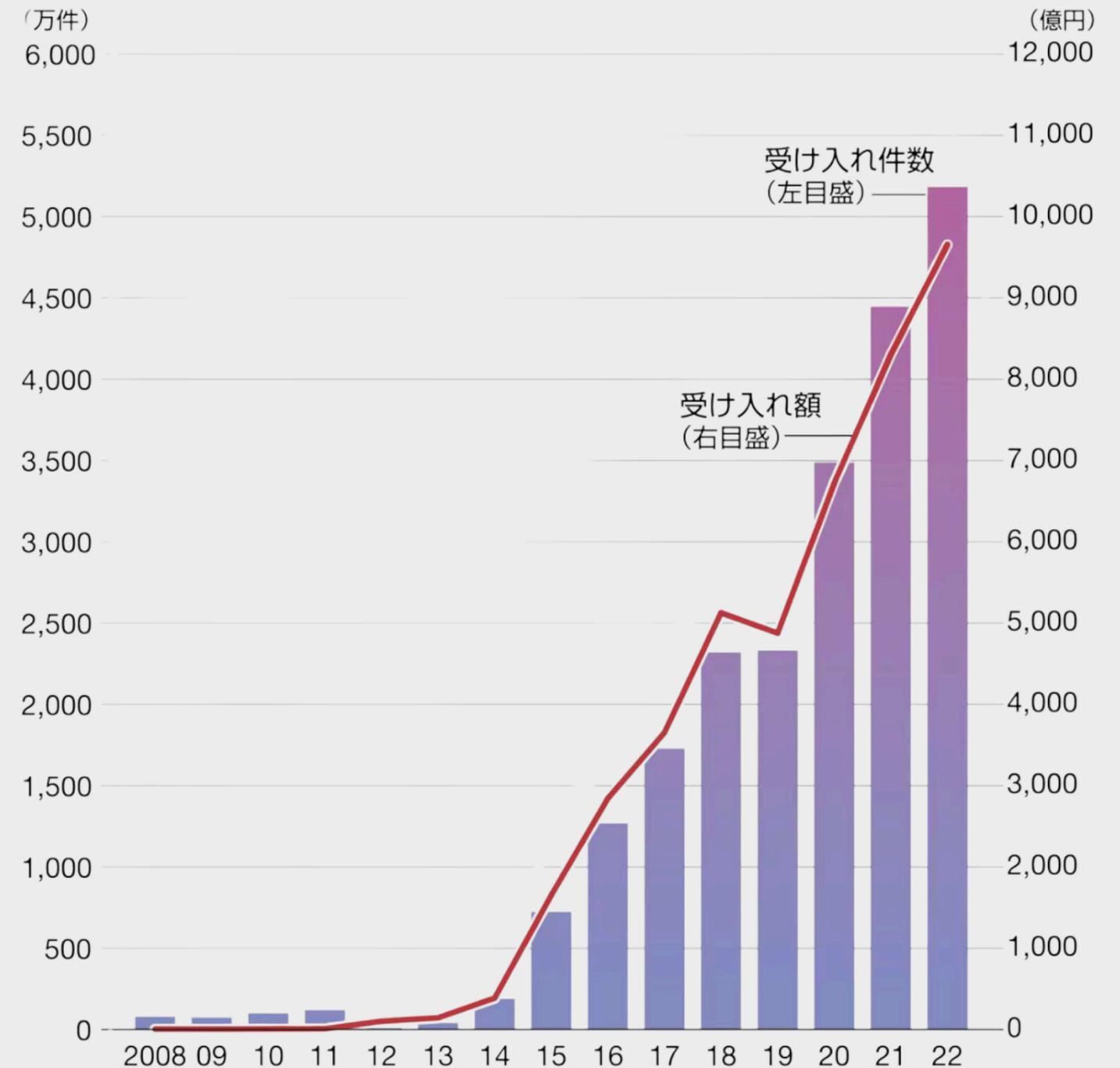
03.わたしたちの提案

ふるさと納税に注目！

近年、ふるさと納税の市場規模は飛躍的に拡大しており、2023年度の全国受入額は、**1兆1,175億円**に達した。

潜在市場価値も2021年度で272兆31.4億円とされ、最近ではLAWSON社やAmazonJapanも参入し、市場競争は加熱してきている。

このような1兆円超のふるさと納税市場に注目した。



出典：<https://toyokeizai.net/articles/-/750735>

03.わたしたちの提案

出資形態の1つとして“**ふるさと納税**”をとる。
再生可能エネルギーなどに興味を持つ人や、
地元を応援したい人などから自治体に
納税目的を指定してふるさと納税してもらう。
→自治体側も比較的楽な出資になる

もらった出資金は

- ・設備設置/維持費用
- ・運営費用

などに用いて、電力会社運営の資金とする。

→環境対策に貢献する**地域新電力自体を**
応援する新しいスタイル



03.わたしたちの提案

また、返礼品として地元の名産品などを贈り、**地方産業を活性化**させることに繋げる。
他にも、地域に来て体験するアクティビティを返礼品として、**地域の新たな魅力などを発見**してもらえる可能性。また、出資者(=納税者)が来ていただいた時に、**宿泊などで地方経済の活性化**も見込める。

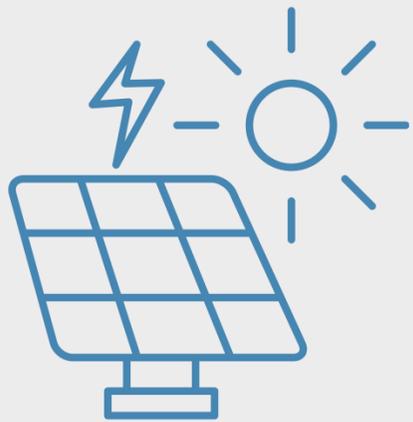
地域経済との好循環を産む電力会社へ！



出典：<https://furu-sato.com/magazine/39179/>

04

卒FIT後の未来と 地域新電力



04. 卒FIT後の未来と地域新電力

卒FITにより、電力の買い取り価格の低下は明らか。

→ 太陽光発電を **官民一体で地域電力会社で管理**

『**地域創生**』と『**地域還元**』を根幹とした新たなスタイルの構築



04. 卒FIT後の未来と地域新電力

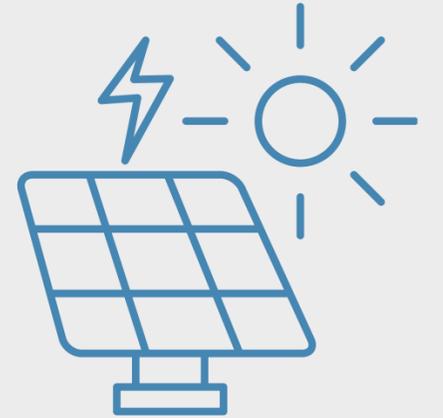
卒FITユーザーから電力を買い取り、**クリーンエネルギー**を求める企業や**地域電力会社を”応援”**したい消費者に電力供給をする。

→自治体とタッグを組んで、

“地域に応援してもらおう”電力会社を目指す。

既存の”電力会社を通して地域応援”ではなく、**地域が電力会社を建てて、電力会社を応援してもらおうスタイル。**(=先駆的な取り組みとなる)

地方からサイクルを生み出し、地方が自力を持って運営！



04. 卒FIT後の未来と地域新電力

地域新電力の新しい出資方法として、
”ふるさと納税”に注目する！

→全国の人々が比較的簡単に取り組める

→地方を応援したい人などもターゲットに

返礼品として、地方の名産品や
アクティビティを提供することで、
地方経済にも貢献でき、消費者も嬉しい。

地域経済との好循環を産む電力会社へ！



出典：<https://furu-sato.com/magazine/39179/>

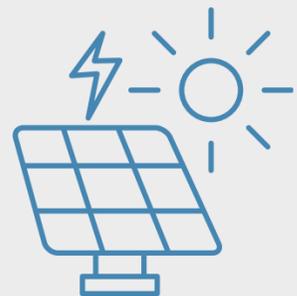
04. 卒FIT後の未来と地域新電力

地域新電力の経営に**新たなスタイル**を。

売電 =
応援



買取金額



地域
電力会社
= 地域経済



電力供給



料金
= 応援



04. 卒FIT後の未来と地域新電力

地域新電力の経営に**新たなスタイル**を。



地域に支えられ、
地域に還元する。

卒FIT後の未来として、
地域新電力のあり方を
提案します。

THANK YOU!

ありがとうございました!